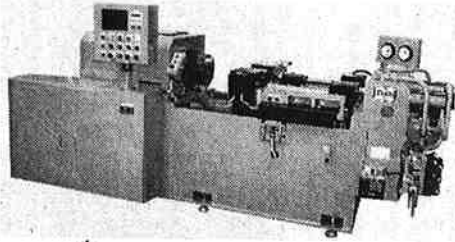


Technology

(第3種郵便物認可)



日東制機

新興国向け摩擦圧接機

機能絞り低価格化

【名古屋】日東制機(愛知県東郷町、背尾直彦社長、0561-38-5331)は6月に、摩擦圧接機で新興国向け低価格戦略機を投入する。接合能力は軟鋼丸棒で直径10mm、30mm。圧接後の全長誤差は ± 0.2 mmと既存機種と同等ながら、価格は同社従来機比4割減の1380万円とした。先進国のメーカーが新興国企業から部品調達を増やしており、現地で高精度な機械の需要が高まっているため、年間30台の販売を見込む。

摩擦圧接機は2本の棒材に圧力をかけ、摩擦熱で接合する。低価格戦略機「FL-30II」は最も多く使われるサイズの丸棒の加工に機能を絞り、低価格化した。納期も従来の5カ月から3カ月に短縮した。最大推力は14t。取組む市場は中国、韓国を中心とし、同社の中国販売子会社や商社を通じて販売する。摩擦圧接機は中国などの現地メーカーも生産している。日本製は精度では優位に立つが価格

が高く、拡販の妨げになっていた。

低価格戦略機の「FL-30II」